



一般社団法人

タウンスペース WAKWAK

2018年度 事業報告

すべての人に居場所と出番がある社会、すべての人がSOSを発信でき、互いに支え・支えられる社会、新しい公共としての住民主体による「自立」「参加」「協働」による地域の再生と互いに絆を結び合えるつながりの地域社会をめざして以下のとおり事業を行いました。

I. 法人運営事業

1) 会員拡大

各種事業の場や広報活動を通じ、本法人の目的に賛同しともに活動を進めようとする正会員および賛助会員については、下記の通りです。引き続き、継続更新を働きかけていきます。

	会員数	口数	前年度会員数	口数
正会員（団体）	1	5	1	5
〃（個人）	16	19	12	15
賛助会員(団体)	4	5	3	3
〃（個人）	58	209	91	249
合計	79名	238口	4団体・107名	272口

2) 理事会、社員総会および企画運営スタッフ会議の開催

①理事会の開催

日時	場所	議案
第1回理事会 5月24日(木)	富田ふれあい 文化センター 研修室	(報告案件) 第1号議案 2017年度事業報告承認について 第2号議案 2017年度決算報告について 第3号議案 監事監査報告

第1回理事会 5月24日(木)		第4号議案 理事の任期満了に伴う改選および新任について 第5号議案 業務執行理事の報酬改定について 第6号議案 定款変更について 第7号議案 臨時アルバイトの雇用について (議決案件) 第8号議案 代表理事・副代表理事・業務執行理事の選任について 第9号議案 慶弔規定の制定について
第2回理事会 10月18日(木)	富田ふれあい 文化センター 研修室	第1号議案 2018年度上半期事業中間報告について 第2号議案 2018年度上半期中間決算報告について 第3号議案 最賃の変更に伴うパート賃金の変更について
第3回理事会 3月19日(火)		<報告案件> 第1号議案 2019年度事業計画案について 第2号議案 2019年度予算案について <議決案件> 第1号議案 業務執行理事の役員報酬について 第2号議案 就業規則の変更について 第3号議案 決算理事会・社員総会の日程について

②社員総会の開催

日時	場所	議案
第1回 社員総会	富田ふれあい 文化センター	第1号議案 2017年度事業報告承認について 第2号議案 2017年度決算報告について

5月24日（木）	富田ふれあい 文化センター	第3号議案 監事監査報告
		第4号議案 理事の任期満了に伴う改選および新任について
		第5号議案 業務執行理事の報酬改定について
		第6号議案 定款変更について
第2回 社員総会 3月19日（火）	研修室	第1号議案 2019年度事業計画案について 第2号議案 2019年度予算案について

③企画運営スタッフ会議の開催

2018年度は理事・社員・運営スタッフ含め24名のメンバーでスタッフ会議を計3回開催しました。

- ① 5月24日 ②10月18日 ③3月19日

3) 経営・財務管理

持続的な活動を担保していくための経営計画と適切な財務管理を行うと共に、社会貢献事業を安定的に支えていくため、富田地区の視察の受け入れや講師派遣を積極的に行い、また、チャリティグッズを導入するなど事業収入の増加を図りました。また、事業に対する賛同者を増やしていくため寄付の呼びかけやオンライン寄付サービスの導入など幅広く寄付を集める仕組みの導入を行いました。

○2012年度決算（法人設立時）	7,973,202円
○2016年度決算	7,250,007円
○2017年度決算（前年度）	13,870,719円
○2018年度決算（当年度）	17,202,945円（純利益3,174,758円）

4) マイナンバー法施行にともなう個人情報管理

2016年1月から実施されたマイナンバー制度に伴い、法人が取り扱う特定個人情報の範囲、安全管理措置について法人基本方針ならびに取扱い規定を定め、特定個人情報の取得・利用・保管等について厳正な事務に努めました。

5) 寄付金の状況

・**事業指定寄付** 学習支援事業・子どもたちの夕刻を支える場・児童養護施設等社会的養護の子どもたちのエンパワメント事業、災害支援等に計 664,601 円の事業指定寄付を頂きました。

・**インターネット寄付** 日本財団が運営するクレジットカード決済のインターネットサービスである CANPAN サービスを通じ、計 191,250 円（手数料差引後）のご寄付を頂きました。

6) WAKWAK事務所へ寄付金箱の設置

事務所への来客や富田地区フィールドワークの受け入れ時や講演の際の呼びかけにより 2018 年度は 13,365 円の寄付金箱へのご寄付をいただきました。

II. 協働交流・調査研究開発事業

1) 情報発信活動

①情報誌「WAKWAK通信」の発行

情報誌「WAKWAK通信」を計 3 回（第18号・19号・20号）発行しました。

	内容	発行部数
18号	・「ただいま～と言える子どもたちの居場所づくり」がNHK総合TV「地域課題ドキュメントふるさとグングン！」で全国放映されました！	各1500部

	<ul style="list-style-type: none"> ・WAKWAKの社会的企業としての挑戦 ・新役員（理事）を紹介します。 ・子どもから高齢者までを地域で支える仕組みへの進化 - 事業部門 中長期計画 ・2018年度社員総会を開催しました。 	
19号	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪北部地震 - 声なきSOSを見捨てない取り組み - ・震災後2週間をめぐりとした第1次被災者支援「共助の」力災害時に ・避難の長期化に対応した第2次支援 ・子どもたちにとっての第3の居場所づくり（WAM助成金）事業 ・社会的養護で暮らす子どもたちのエンパワメント事業 募集開始 ・講師派遣/富田地区フィールドワーク受け入れ/原稿執筆 	各1500部
20号	<ul style="list-style-type: none"> ・「富田わくわく食堂（第5回）」を開催します-「防災」をテーマに子ども達も舞台発表 - ・大阪府北部地震被災者支援から社会的包摂のまちづくりをめざすWAKWAKのとりくみ ・イベント・事業報告 	

②インターネットを活用した発信

「タウンスペースWAKWAK」HP (URL : <http://wak2.jimdo.com>) や「タウンスペースWAKWAK」Facebook ページの更新にも努め、日々の活動を常に発信するなど広く情報発信に努めました。

③メディアへの協力

・大阪北部地震以降の災害支援の取り組みについて取材依頼があり、地域サイド（高槻富田地区）の受け入れ法人（窓口）として地域諸団体のコーディネートをはじめ情報発信への協力を行いました。

●NHK全国放送クローズアップ現代+「都市直下地震 露わになったリスク - 大阪震度6弱で何が -」

NHK 総合 1 チャンネル 6月 20日

●産経新聞記事「居場所の再開難航」（6月30日）

●読売新聞記事「共助の力災害時こそ」（7月19日）

2) ネットワーク構築、他団体との協働

WAKWAKが実施する各事業において、地域社会とのネットワーク構築、市民活動団体相互および市民・事業者・行政との連携、協働促進事業について以下のとおり実施しました。

① さにすぽ夏祭り

日時：7月21日(土) 午前10時～午後3時

場所：知的障がい者福祉事業所サニースポット

内容：チャリティグッズ ポストカード等販売

② 富田富寿栄盆踊り大会

日時：9月1日(土) 午後5時～9時

場所：富田富寿栄公園

実行委員団体として参加。

③ NPO協働フェスタ

日時：10月7日(土) 午前10時～午後3時

場所：生涯学習センター1F展示ホール

内容：展示「子どもの居場所づくり事業」と「ふるさとぐんぐん」放映

④ フェスタ・ヒューマンライツ

日時：12月2(日) 午前9時半～午後3時

場所：富田ふれあい文化センター他

内容：わんだーぼっくす受講生作品展示を行いました。

ボーダレスアート展の同時開催(12月3日～4日)。

⑤その他

ア. 富田まち・くらしづくりネットワークおよび富田地域包括支援センター/コミュニテイケア会議、富田富寿栄住宅建替研究会、富寿栄連合自治会諸活動への参加を通して、地域福祉やまちづくり運動への参加と連携を図りました。

イ. 市民公益活動サポートセンターの諸活動への参加を通して、市内NPO団体等との連携を図りました。

3) 調査・研究事業

平安女学院大学等と連携し高槻市におけるタウンスペースWAKWAKをはじめとする子ども食堂の状況について調査・研究を行い学会等において発表し知見を普及しました。

	事業名	日時	場所	発表内容
1	学校づくり研究会 (大阪大学志水先生主宰)	7月14日(土)	大阪大学 中之島 センター	「ひとりぼっちのいないまちづくり - 地域・家庭・学校・行政・大学・企業と連携しながらた だいま～と言える子どもの居場所をつくる -」

2	日本子ども健康科学会 第20回学会	12月8日(土) ～9日(日)	千葉大学	・「子ども食堂の存続に係る運営者の実践モチベーションの研究 - 大阪府高槻市の子ども食堂の現状と課題 -」 ・「困難を抱える子どもを支える子ども食堂におけるソーシャルワークの有用性 - 大阪府高槻市富田地区における「ただいま食堂」の実践から -」
3	日本福祉大学 コミュニティリフレクシ ョントレーニング研究会	3月3日(日)	日本福祉 大学名古 屋キャン パス	「住民・コミュニティワーカー・コミュニティリーダーとして包摂の仕組みを創る」

Ⅲ.新たな福祉と人権・協働のまちづくり事業

1) 地域福祉グランドデザインづくり事業

①富田富寿栄住宅建て替えに向けた取り組み

市の全面建て替え方針を受けて、富田まち・くらしづくりネットワーク等と連携しながら地域まちづくりに引き続き取り組みを行うとともに「建替研究会」に委員として参画しました。とりわけ、6月18日大阪府北部地震により大きな損傷を受けた12・13棟解体と跡地活用による現地建替を市に申し入れと共に早期建替へ事業の加速化を図りました。結果、2019年3月には現地での二期工事を柱とする「建替基本計画」が高槻市により策定されました。

この間、現地建替えに向けたプラン策定と住民ワークショップを(株) 権総合プランニングの協力により実施しました。

ア.「建替研究会」

構成：富田自治会連合・昭和台自治会連合・富田富寿栄連合自治会・富田まちくらしづくりネット・老人会・

入居者委員会代表等

12名

日時：1月21日（月）・2月20日（木）・3月27日（水）の計3回に参画。

イ.「入居者委員会」

構成：富寿栄住宅入居者 16名で構成

日時：5月28日（月）・10月5日（金）・12月11日（火）・2月20日（水）・2月23日（土）・3月8日（金）

計6回に参画。

ウ.「住民ワークショップ」

構成：富田支部・富田まちくらしづくりネットワーク・富田富寿栄連合自治会・老人会・入居者委員会委員・

社福つながり・WAKWAK他

日時：10月30日(火)

2) 生きがいと居場所づくり事業

①ボードレスアート事業

ア. ボードレスアート教室「わんだーぼっくす」の開催

日時および受講者数：前期開講：5月～10月（8月は休み）の月2回 19名受講

後期開講：11月～3月の月2回 16名受講

場所：青少年交流センター2Fレッスンルーム

後援：高槻市・市教育員会、高槻市社会福祉協議会、社福つながり・つながり後援会

イ. 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 3名（上林凌太、森脇蓮太郎、村濱正博）5作品応募
入賞には至りませんでした

ウ. ボーダレスアート展「わんだーぼっくす」の開催

日時：12月2日（日）～3日（月） 午前10時～午後5時(最終日4時まで)

場所：富田ふれあい文化センター

入場者数：226名

内容：わんだーぼっくす受講生作品展示

3) ひとりぐらし高齢者・障がい者・若者支援事業

①地域支え合い事業

ひとりぐらし高齢者および高齢者世帯への食事や買い物、家事支援、安否確認、心のケア等様々な地域における社会的支援の仕組みづくりを構築することを目的に実行委員会立ち上げと「高齢者のお困りごと」訪問調査を実施いたしました。ボランティアサービス提供者の確保等の課題があり、事業スタートには至っていません。今後事業実施に向け協議を進めます。

②障がい者グループホーム整備事業

ア. グループホーム「コラム富田」開設

いわゆる重度障がい者夜間支援型グループホーム整備については、富田地域内で建設用地を取得し、男性7名入居のグループホーム「コラム富田」が社福つながりにより2017年4月に竣工し、昨年5月より入居

開始となりました。

引き続き、女性用グループホーム建設に向け、社福つながり後援会・家族会ひだまりで「花の会北大樋」
「コルメナ睦月荘」の見学会を10月9日・10日・11日に実施しました。

4) 青少年・子育て支援事業

①こどもの歩みバックアップ「生活困窮家庭の子どもたちへの学習支援事業」

生活保護受給および生活困窮世帯や家庭困難層等様々な課題を持つ中学生を対象に、学習支援を行うことで
低学力の克服と地域における「貧困の連鎖」を防止する事を目的に2014年8月より学習支援事業をスタートさ
せました。

ア. 学習支援教室わんぴーすの通年開催

生活困窮以外に発達障がい等で課題を持つ生徒のニーズも高く、教員OB・OG、大学生の講師体制の増
員を図る等により事業の円滑な実施に努めました。結果、中学3年生は全員希望の進路に進むことがで
きました。

期間：4月～3月の毎週2回 月・水の午後7時～9時

場所：富田ふれあい文化センター2F 学習室1・交流室1・2

対象：中学生(定員10名に対し16名が参加) ※卒業した高校生も参加

参加費：12,000円/月 ※これまでの受講生・要支援家庭6,000円/月(教材費・保険代含む)

講師体制：教職員経験者7名および地域大学生10名(毎回6～7名体制)

後援：高槻市・高槻市教育委員会・社会福祉法人高槻市社会福祉協議会

イ. 青少年相談事業並びに中学校等との連携

- ・ 青少年相談事業を通じた親支援も並行して実施
- ・ 生徒1人1人の特性や課題等について当該中学校との連携会議を概ね2～3か月に1回のペースで開催

ウ. わんぴーす夏休み中3合宿

- ・ 時期：8月25日（土）～26日（日） ※台風のため2泊3日予定を2日間に変更
- ・ 場所：檜田地区にある毛利先生別宅
- ・ 内容：受験勉強
農作業体験
- ・ 対象：中学3年生 8名参加

②「ただいま～と言える子どもたちの居場所をつくる」

ア. 子どもたちの夕刻を支える場「ただいま食堂」

趣旨：ケア付き食堂をコンセプトに「一緒に食卓を囲むことを通じてつくられた信頼関係をもとに、
家族のこと学校のこと、進路のことといった子どもの生活課題への対応を目指す」ことを趣旨
に実施。

期間：4月～3月の毎週1回 水の午後5時半～7時

場所：富田ふれあい文化センター3F和室および料理教室

対象：わんぴーすを受講する中学生及びその兄弟、姉妹 11名

参加費：子ども 300円・大人 500円

体制：7名地域住民および大学生で運営 ※その他 わんぴーすの講師や学校の教員も参加

後援：社会福祉法人高槻市社会福祉協議会

イ. 富田版子ども食堂「富田わくわく食堂」

趣旨：共生食堂をコンセプトに「地域に住む多世代、子どもから高齢者まで多くの人たちがごちゃまぜに交わる交流拠点」を趣旨に開催。地域・家庭・学校・行政・大学・企業など多セクター40団体以上の協働で実施。

日時：2月23日（土）11時～15時

テーマ：「防災」

場所：富田ふれあい文化センター地下大小ホールおよび社会福祉法人つながり

内容：①舞台<富田ふれあい文化センター大ホール>

（第1部）11時～12時半

- ・第四中学校吹奏楽部演奏「花は咲く」ほか
- ・みんなで歌おう！♪ 「今とみらい」/歌 子どもたち・手話トライアングル
- ・「ほっと Station 富田～ひとりぼっちをつくらないまちづくりから学ぼう～」
富田小5年生有志「いまとみらい科」防災の取り組み
- ・「社会の温度計を上げよう！どっちもあきらめない・勇気・明るく声かけ station～ひとりぼっちのいないまちをつくろう～」赤大路小5年生有志「いまとみらい科」高齢者の取り組み

（第2部）13時半～14時半

- ・親子で学ぶお口の健康のお話 絵本読み聞かせ（風の子文庫 朝日悦子さん）
- ・歯磨き指導（歯科衛生士 山口千里さん）

※サンスター株式会社より歯ブラシの寄贈をいただき、当日配布

- ・人形劇「TOA 音の防災シアター カンカン塔の見はり番」（出演団体名 TOA 株式会社）

② コーナー

- ・ 11 時～14 時 よちよちコーナー（元富田保育所所長大南峰子さん他）
- ・ 11 時半～12 時半・13 時 45 分～14 時 45 分 火育（大阪ガス株式会社）
 - i. マッチ擦り、古代の火おこし体験
 - ii. 防災紙芝居『大雨と僕の夢』読み聞かせ
 - iii. 新聞紙で作る防災グッズ（紙食器、スリッパ）
- ・ 11 時～14 時 防災カルタ（第四中学校 1 年生有志）
- ・ 11 時～14 時 昔遊びコーナー（赤大路小学校 5 年生有志）

③ 昼食<カレーライス>（ボランティアサークルひまわり）

先着 200 食 ※食事代 おとな 300 円・子ども 100 円

参加者：のべ 1,260 名 ボランティア：総勢 120 名

主催：一般社団法人タウンスペースWAKWAK

後援：高槻市社会福祉協議会 / 公益社団法人日本フィランソロピー協会

協賛：サンスター株式会社 / 高槻地区人権推進員企業連絡会

協力：社会福祉法人つながり / 認定NPO 法人ふーどばんくOSAKA / TOA株式会社 /

大阪ガス株式会社

ウ. 子どもシェルター整備事業

- ・ 目的：地域で虐待の状況や困難を抱えたまま生活をせざるを得ないケースに対する支援を目的に地元社会福祉法人と連携し地域に根づいた緊急時の避難先となる子どもたちの居場所の整備を行い、制度のはざまに陥りやすい子どもたちの支援を行う。

・内容：5月31日に地域内の社会福祉法人と地域貢献プロジェクトを立ち上げ、虐待等緊急時の一時避難となる夜の居場所の事業化に向けてショートステイやトワイライト、子どもシェルターなどの先進地への視察や勉強会を通じて地域課題に一番適するスキームを検討し立ち上げを行いました。

・プロジェクトメンバー：当法人、社会福祉法人つながり、富田小・赤大路小・第四中学校からプロジェクトメンバーを募り、有識者（学識経験者 郭理恵大阪人間科学大学助教）を座長に16名にてプロジェクトを発足しました。

・スケジュール

1. 子どもの居場所視察

i. 6月9日（土）11時～15時 子どもの居場所の現地視察①

- ・趣旨：実際の運営方法について現地視察から学ぶ。
- ・テーマ：子どもシェルターの実際の運営方法について
- ・行先：大阪弁護士会館
- ・内容：NPO法人子どもセンターぬっくの総会にオブザーバーとして参加し運営方法や事業内容、財政基盤について理解を深めました。
- ・対象：プロジェクト従事者およそ2名

ii. 6月16日（土）13時～16時半 子どもの居場所の現地視察②

- ・趣旨：実際の運営方法について現地視察から学ぶ。
- ・テーマ：深刻な課題を持つ子どもたちの支援方法
- ・行先：西成子どもの里
- ・内容：子どもの里において代表の荘保共子さんより子どもの里の概要の講義を受けたほか、施設内の見学および子どもたちの様子も見学しました。
- ・対象：プロジェクト従事者およそ13名

iii. 11月17日(土) 13時~16時半 子どもの居場所の現地視察③

- ・趣旨：実際の運営方法について現地視察から学ぶ。
- ・テーマ：子どもの貧困のための具体事業について
- ・行先：NPO 法人西淀川子どもセンター
- ・内容：当センターにおいて代表の西川さんおよび事務局長より事業の概要の講義を受けたほか、施設内および居場所スペースを見学しました。
- ・対象：プロジェクト従事者およそ6名

2. プロジェクト学習会

i. 第1回 10月24日(木) 16時~18時

- ・趣旨：実際の運営方法や手続きについて学ぶ①
- ・テーマ：親の親権や行政上の手続き等
- ・場所：富田ふれあい文化センター2階研修室
- ・講師：NPO 法人子どもセンターぬっく弁護士 丹羽有紀さん
- ・対象・人数：プロジェクト従事者およそ12名

ii. 第2回 11月22日(木) 16時~18時

- ・趣旨：実際の運営方法や手続きについて学ぶ②
- ・テーマ：子どもの居場所の運営方法について
- ・場所：富田ふれあい文化センター2階研修室
- ・講師：西淀川子どもセンター 元代表 西川日奈子さん
- ・対象・人数：プロジェクト従事者およそ11名

iii. 第3回 2月26日(火) 18時～20時

- ・内容：2019年度からスタートする富田地区の居場所のスキームの確認とクライアント（保護者・子ども）との手続き方法について関係者による最終確認を行いました。
- ・場所：富田ふれあい文化センター2階研修室
- ・対象・人数：プロジェクト従事者およそ14名

3. 子どもの居場所立ち上げ講演会

- ・日時：3月9日(土) 13時半～16時
- ・内容：・記念講演 子どもの里 荘保共子さん
- ・対象・人数：福祉、学校関係者、行政職員、大学関係者及び地域住民 42名

※子どもの貧困連続学習会と並行して本講演会を実施

4. 2019年4月1日(月)～ 緊急時の一時避難となる子どもの夜の居場所事業スタート

エ. 子どもの貧困を学ぶ学習会の開催

目的：地域住民や教育関係者、事業に携わる支援者、大学生が「子どもの貧困」や「虐待問題」への理解や子どもたちのエンパワメントを促す手法を学ぶことで支援者のスキルアップと子どもたちを支える受け皿の充実化を図る。

内容：子どもの居場所づくり事業を先進的に行うNPO法人の代表等を講師として招き、子どもの貧困への理解や様々な背景を抱える子どもたちの支援体制の構築および手法を学ぶ学習会を開催しました。

日時・内容・参加者数

1. 第1回 10月25日(木) 18時半～20時半

・講師 NPO法人子どもセンターぬっく理事長 森本志磨子さん

・参加者 45名

2. 第2回 11月22日(木) 18時半～20時半

・講師 NPO法人西淀川子どもセンター前代表 西川日奈子さん

・参加者 32名

3. 第3回 3月9日(土) 13時半～16時

・講師 NPO法人西成子どもの里 理事長 荘保共子さん

・参加者 42名

場所：いずれも高槻市立富田ふれあい文化センター2階研修室

対象者：支援者、大学生及び民生委員児童委員、近隣の幼稚園・保育所・学校・市町村職員ほか

③社会的養護で暮らす子どもたちのエンパワメント事業

ア. 児童養護施設の子どもたちを対象としたプログラムの実施

虐待や一人親、障がいなどの社会的、経済的事由により児童養護施設に通う児童（社会的養護で暮らす子どもたち）を対象に自然体験活動を行う中で、生きる力や対人関係形成力、自己肯定感を継続的に育む事業を実施しました。

日時：2月10日(日) 11時～16時

3月2日(土) 11時～16時

内容：①子どもたちとの顔合わせとアイスブレイキング

②子どもたち対象の自然体験活動

対象：高槻市内の児童養護施設の子どもたち（小学生・中学生）のべ 28 名

場所：摂津峡青少年キャンプ場

イ. 児童養護施設プログラムのためのボランティア・スタッフ研修の実施

将来、学校の教職員や児童養護施設など教育関係や福祉、対人援助職を目指す学生を対象に、研修や実践を通して虐待や発達障がいに対するより深い理解と様々な背景を持つ子どもたちと関わる実践力を育むことを目的に開催しました。

テーマ：子どもたちの行動の背景にあるものに寄り添うために

対象：将来、教職員や福祉職などの教育関係、対人援助職を目指す学生 21 名

場所：富田ふれあい文化センター及び摂津峡青少年キャンプ場

i. スタッフ研修

1. 日時：11月3日(土) 午前10時～午後5時

内容：・児童養護施設の子どもたちの背景にあるもの <社会的養護と虐待への理解>

・チームビルディング <人間関係トレーニング>

2. 日時：11月24日(土) 午前10時～午後5時

内容：・対人援助をする援助者が子ども達に与える影響 <知識・スキル・人間性>

・子どもたちの気持ちを受け止める <カウンセリングマインド研修>

3. 日時：12月15日(土) 午前10時～午後5時

内容：・プログラム当日に向けて打ち合わせ

・当日に向けた準備

4. 日時：2月8日(木) 午後6時30分～午後8時30分

内容：・児童養護施設の職員さんからのオリエンテーション <施設の様子と子どもたちの特性>

・プログラム当日に向けて打ち合わせ

5. 日時：3月12日(火) 午後1時～4時

内容：・児童養護施設およびグループホームの見学

・施設概要についてのレクチャー

5) CSW (コミュニティソーシャルワーク) 事業

①コミュニティソーシャルワーク事業

中学校区でのフォーマル（公的機関）・インフォーマル（民間その他）の連携による支援ネットワークという長年培ってきたまちの財産を活かし、また発展しながら子どもから高齢者の困りごと相談への対応や解決、関係機関へのコーディネートを行いました。

ア. 青少年の支援のための学校教育との連携

学習支援わんぴーす受講生やただいま食堂等の日々のケース対応に当たっては、当該の小、中学校と密に連携を図り、支援を行いました。また、深刻なケースに当たっては、市のSSWやカンガルーの森などの関係機関等とも当法人の社会福祉士が連携しケースカンファレンスを行いました。

イ. 高齢者等住民支援のための関係機関との連携

高齢者の支援に当たっては富田ふれあい文化センターの介護相談員や地域の民生委員と連携し課題解決を行った。また、よりネットワークを広げるため富田ふれあい文化センターが開催したケアケース会議への参画や富田地域包括支援センターが開催する地域ケア会議へ出席しました。

6) 人材育成事業

富田まちくらしづくりネットワークや地元自治会等への活動参加を行い地元住民のボランティア発掘を行うとともに、多種多様な講座の開催をはじめ地域内外からの若年層のマンパワーの発掘のため平安女学院大学や大阪人間科学大学、関西大学等との連携を行う中で当法人のさまざまな事業のボランティア参画へとつなぎました。

①連続講座「富田ものがたり」の開催

富田地域内施設において業務として従事する方（行政職員、学校、幼稚園、保育所等教職員、民間施設職員等）やボランティア活動を行う方々を対象に、富田地域の特性や施設、団体の設立の背景や歴史に対する知識を深める連続講座を開催しました。

今期は、大阪北部地震の影響で2回目以降の実施が叶いませんでした。

日時・内容：

「富田地域概要～風をつかみ果敢にチャレンジする文化～」<6月7日（木）18時半～20時半>

- ・人と人が出会い、繋がる アイスブレイキング（チェックイン&デートゲーム）
- ・オーソドックスな富田地域概要 （一社）タウンスペース WAKWAK 事務局長 岡本 工介

場所：高槻市立富田ふれあい文化センター小ホール

対象：富田地域の学校、施設、その他に従事する人、興味のある方

参加者：36名

参加費：500円/人<資料代>・学生 無料

IV. その他事業

法人の社会貢献事業を支えるための持続的かつ安定した財政基盤を強化することを目的として以下の事業を行いました。

1) 富田地区視察の受け入れおよび講師派遣事業

市内外や他府県の行政機関や福祉施設等へ職員が講師として積極的に出向き、包摂型のまちづくりの実践談や人権啓発の推進を図りました。また、これまで行ってきた富田地区視察の受け入れを積極的に行い、受け入れメニューの充実も図りました。ここで得た報償費（収益）を法人の安定的な基盤づくりに寄与するとともに法人の社会貢献事業へ循環しました。

①スーパーバイズ等派遣

業務内容	契約期間	依頼者
箕面市萱野人権文化センター（らいとぴあ21）地域教育課のスーパーバイズ及び次世代のリーダー育成	2年間	暮らしづくりネットワーク北芝
部落解放・人権大学第112期助言者派遣	10～3月	部落解放人権研究所

②研修講師派遣

	事業名	日時	主催者
1	大阪人間科学大学新入生人権啓発講演会	4月5日（木）	大阪人間科学大学
2	関西大学春季人権啓発講演会	4月20日（金）	関西大学

3	南大冠公民館高槻稲穂塾～淀川ふれあい教室	5月17日(木)	南大冠公民館
4	八尾市行政職員研修	5月24日(木)	八尾市
5	関西大学公開講座	5月25日(金)	関西大学
6	泉南市市民講座	5月26日(土)	泉南市
7	大阪人間科学大学 FA 演習	5月28日(月)	大阪人間科学大学
8	荊政会「子どもの貧困学習会」	6月26日(火)	荊政会
9	追手門学院大学成熟社会研究所 「シェアラボ 社会的起業家編」	7月2日(月)	追手門学院大学 成熟社会研究所
10	高知県土佐市人権講演会	7月11日(水)	高知県土佐市
11	滋人教「2018年度夏季セミナーⅢ」	8月20日(月)	(公社)滋賀県人権教育研究会
12	大阪府人権教育夏季研究会人権教育セミナー	8月22日(水)	大阪府人権教育研究協議会
13	芝谷中学校区人権研修会	8月28日(火)	芝谷中学校区
14	島根県庁人権・同和教育地域活性化に向けた リーダー研修(益田会場)	8月30日	島根県教育庁
15	島根県庁人権・同和教育地域活性化に向けた リーダー研修(出雲会場)	8月31日	島根県教育庁
16	島根県庁人権・同和教育地域活性化に向けた リーダー研修(隠岐島会場)	9月12日(水)	島根県教育庁
17	NPO 法人子どもセンターぬっく学習会	9月25日(火)	NPO 法人子どもセンターぬっく
18	大阪府教育センター小・中学校人権教育研修	9月28日(金)	大阪府教育センター
19	らいとぴあ21 まなびカフェ	10月5日(金)	暮らしづくりネットワーク北芝

20	富田ふれあい文化センター人権講座	10月26日(金)	富田ふれあい文化センター
21	NPO法人はち「風の人になりたい」 上映会&トーク	10月27日(土)	NPO法人はち
22	吹田市教頭研修会	11月2日(金)	吹田市立教育センター
23	向日市留守宅家庭児童会指導員 人権研修会	11月7日(水)	向日市教育委員会
24	八尾市人権学習講座	11月15日(木)	八尾市教育委員会
25	人権が尊重された学校づくり推進事業 「子どもの育成・支援」に係る共同研究部会	11月15日(木)	大阪府教育センター
26	交野市人権啓発研修(交野市全課課長級)	11月26日(月)	交野市総務部人権と暮らしの相談課
27	京都女子大学「教育の制度と経営」 ゲストスピーカー	11月29日(木)	京都女子大学
28	第35回部落解放富田林教育・人権研究集会	12月2日(日)	第35回部落解放富田林教育・人権研究集会実行委員会
29	高知県土佐市戸波地区人権を大切にするつどい	12月4日(火)	高知県土佐市
30	高槻の子どもの貧困って?	12月15日(土)	高槻市市民公益活動サポートセンター
31	第31回フィランソロピーセミナー(大阪編) 地域を支える次世代の育成	12月22日(土)	公益社団法人 日本フィランソロピー協会
32	今城塚公民館稲穂塾今悠倶楽部6月例会	1月16日(水)	今城塚公民館
33	泉南市教職員研修	1月21日(月)	泉南市教育委員会
34	フィランソロピーセミナー(宮城県石巻編)	1月26日(土)	公益社団法人

	災害支援を乗り越え、地域創生を支える 次世代リーダーシップ		日本フィランソロピー協会
35	大阪狭山市人権協会 人権連続学習講座	①2月15日(金) ②2月22日(金) ③2月26日(火)	大阪狭山市人権協会
36	常磐会短期大学大学生キャンプリーター研修	2月13日(水)	常磐会短期大学
37	フィランソロピーセミナー(東京編)	3月10日(日)	公益社団法人 日本フィランソロピー協会
38	NPO 法人スマイルひろば	3月30日(土)	NPO 法人スマイルひろば

○第四中学校区の地域学習等への派遣

39	高槻市立富田小学校4年生	6月18日(月)	高槻市立富田小学校
40	高槻市立富田小学校5年生 ※富田わくわく食堂へ参画 ※コミュニティ再生事業のためのチャリティグッズを協働作成	11月21日(水)	高槻市立富田小学校
41	高槻市立赤大路小学校5年生 ※富田わくわく食堂へ参画	9月13日(金)	高槻市立赤大路小学校
42	高槻市立第四中学校7年生 ※7年生の有志が富田わくわく食堂および実践報告会に参画	1月31日(木) 3月6日(水)	高槻市立第四中学校

2) 富田地区の視察の受け入れ

	視察受け入れ先	日時
1	京都女子大学	5月29日(火)
2	佛教大学	6月2日(土)
3	泉南市教育委員会	8月10日(金)
4	部落解放地方共闘近畿・九州ブロック第32回交流会	9月9日(日)
5	大阪府商工会連合会地域貢献型企業経営サポートセンター	10月5日(金)
6	立命館大学	10月10日(水)
7	(石川県)社会福祉法人ひびき障害者地域生活支援センターエポック	10月12日(金)
8	島根県教育庁益田教育事務所	11月14日(水)
9	大阪私立学校人権教育研究会義務教育部会	11月20日(火)
10	NPO法人山科醍醐こどものひろば	11月21日(水)
11	NPO法人地域生活サポートネットほうぶ	11月21日(水)
12	宮城県せんだいこども食堂	11月22日(木)
13	大阪私立学校人権教育研究会同和・人権教育交流委員会	10月23日(火)
14	京都府舞鶴市立白糸中学校	11月28日(水)
15	香川県丸亀市金山地区まちづくり協議会	11月29日(木)

16	「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」 第3期 組織基盤強化事業 みやぎ NPO 経営ゼミ FW 研修	12月18日（火）
17	広島県北部地区職員部落解放研究会	2月16日（土）
18	茨木・高槻・摂津・島本地区人企連	2月19日（火）
19	第113期 部落解放・人権大学	2月28日（木）

3) 原稿の執筆

	書籍名	出版社	執筆内容
1	「月刊ヒューマンライツ」 8月号 明日を変える法人シリーズ	部落解放人権研究所	「差別の現実を社会的包摂で超える タウンスペース WAKWAK の活動」
2	「地域包括支援総合相談事例集」	第1法規株式会社	「ひとりぼっちのいない町づくり - 大阪府高槻市富田地区の取り組み」
3	関西大学人権問題研究室 紀要	関西大学	「高槻富田地区における包摂型のまちづくり - 子ども食堂をはじめとする子どもの居場所 づくり事業を中心に - 」

4) 事務受託事業

部落解放同盟高槻富田支部、富田富寿栄老人会、富田地区企業者組合、人権ネットワーク、社福つながり後援会・家族会ひだまりと事務受託契約を行い、計5団体の事務受託について適正に事業を執行致しました。

5) マイノリティと出会う旅 スタディツアーの準備

2019 年度以降に開催予定のアメリカ先住民居留区へのスタディツアーの開催に向け、法人事業に携わるスタッフとともにツアー準備会を開催しました。

期間：7月21日（土）～8月10日（金）

行先：アメリカ・サウスダコタ州 パインリッジインディアン居留区ほか

内容：①マイノリティ アメリカ先住民との出会い

②先住民の伝統的儀式のサポート

参加者：5名+2名現地合流 同行

その他：その他のツアー先についても検討するとともに旅行業取扱管理者の取得についても検討しました。

6) 大阪北部地震による災害支援の取り組み

・ 6月18日(月) 7:58分 地震発生 ※富寿栄団地 12・13 棟避難指示

① 緊急支援方策

地震当日：ふーどばんく OSAKA 緊急物資支援(富田小校区避難所へ配布)

・ 6月19日(火)：地域内 65 歳以上高齢者および子ども食堂参加ひとり親世帯緊急物資個配

ふーどばんく OSAKA 緊急物資支援(富田小校区避難所へ配布)

② 第1次支援（6月25日～7月8日）

ア. 社会福祉法人つながりと協働した避難所生活者への昼食の無償提供

期間 6月25日(月)～7月6日(金)までの月～金の11時30分～午後2時

場所 サニースポット喫茶クローバー *計214食

イ. 社会福祉法人つながりによる避難所へのアロマ出張サービス

期間 6月25日(月)～7月6日(金)までの月～金

ウ. WAKWAK、富田支部による夕食炊き出し提供

日時 6月28日(木) 午後6時～8時 サニースポット喫茶クローバー

7月 6日(金) 〃 富田ふれあい文化センター3F和室 ※計62食

エ. 学習支援教室わんぴーす再開と心のケア

日時 6月25日より月水 午後7時～9時

場所 富田ふれあい文化センターが6月末まで使えないため、会場をサニスポに変更

子どもたちの心のケアのためのスタッフ増員

オ. ふーどばんく OSAKA と連携した物資の避難所への配送

カ. 支援の長期化を想定して支援カンパ要請

キ. 関係機関との調整

市および校区避難所方面隊、自治会、民生児童委員協議会校区委員会、市社協ボランティアセンター等と引き続き連携を強め支援にあたりました。

③ 第2次支援(7月2日～7月20日)

ア. 福祉的配慮を必要とする避難者への対応

イ. 富田老人センターからの引っ越し手伝い・廃棄処分

※箕面北芝やったるデイとの協働により自ら引っ越し等の手続きが困難な方を対象に実施